

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	コミュニケーション英語	
科目基礎情報							
科目番号	0037			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	システム創成工学専攻（機械制御システムコース）			対象学年	専2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	Handoutsを配布する						
担当教員	金澤 直志						
到達目標							
+ 基礎的な語彙力と英文法事項を習得・確認することができる + 英語らしい表現パターンを習得することができる + 表現パターンに基づく英文を書くことができるようになることができる + 基本的な英文を用いることで、英語による基礎的コミュニケーションが円滑に行えるようになることができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
Class Participation	25/25		18/25		10/25		
Tests	25/30		18/30		10/30		
Handouts	35/45		28/45		10/45		
学科の到達目標項目との関係							
専攻科学習教育目標（3） システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 A-1 システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 C-2							
教育方法等							
概要	学生自身が必要とする英語表現に出会い、一つでも多く英語での自己表現の方法を蓄積していった欲しい。自分で学ぶ習慣をつけることを忘れないで欲しい。メディアの中で用いられる重要英語例文を暗誦して英語コミュニケーションの基礎力を固めることである。また、音声ファイル等を用いて文法事項を網羅した重要例文を耳で聴き、それを正確に書きとめることで、英語コミュニケーションで不可欠の聴解力を高めることも目的とする。						
授業の進め方・方法	映画や歌などのメディアを通して、用いられている便利な表現等を暗誦する。さらに、その表現を応用して、自分で英文を作ることができるように練習する。また、中学以来の英語文法の総復習を、音声ファイルを使って行い、英語によるコミュニケーションを行うための基礎力を固める。						
注意点	関連科目 プレゼンテーション英語 学習指針 TOEICなどの問題を通して、抜け落ちている基礎的な英語文法力や英単語力を補強していく 自己学習 学ぶ習慣を身につけてほしい。英語を利用しなければ、忘れることの方が多い。そのため、家庭での日々の英語学習に重点が置かれることになる。						
学修単位の履修上の注意							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Introduction of this class, and Presentation of Movie 1-1		講義の説明、メディアを聞き取ることができる		
		2週	Movie 1-2		教材に関する解説が理解できる		
		3週	Movie 1-3		教材に関する解説が理解できる		
		4週	Reading 1		教材に関する解説が理解できる。Part5を中心に		
		5週	Reading 2		文法事項が理解できる。		
		6週	Reading 3		文法事項が理解できる。		
		7週	Reading 4		文法事項が理解できる。		
		8週	Review				
	4thQ	9週	Advertisement 1		メディアを聞き取ることができる		
		10週	Advertisement 2		教材に関する解説が理解できる。		
		11週	Advertisement 3		教材に関する解説が理解できる。		
		12週	Reading 5		教材に関する解説が理解できる。Part7を中心に		
		13週	Reading 6		教材の読み方が理解できる。		
		14週	Reading 7		教材の読み方が理解できる。		
		15週	Final Test				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	25	0	0	45	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	45	0	45
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	25	0	0	0	0	25